

北海道サービス管理責任者更新研修・児童発達支援管理責任者更新研修 シラバス

研修全体として、次の意思決定支援の推進の考え方を盛り込む

- ・ 障がい者が希望する生活を実現するためにサービスの質の向上を図るとともに、障がい者本人の意思を尊重し、選択の機会を確保するためには意思決定支援が必要であることを理解する。
- ・ サービス担当者会議及び個別支援会議について、本人の心身の状況等によりやむを得ない場合を除き障害者本人の参加を原則とし、会議において本人の意向等を確認することが定められたことを踏まえ、意思決定支援の視点や手法について理解する。

【講義日程】

時 間	内 容
60分	障がい者福祉〔児童福祉〕施策の最新の動向
60分	サービス管理責任者等としてのスーパービジョン

【講義・演習日程】

1 日目

時 間	内 容
10:30～12:00	【演習 1】事業者としての自己検証
12:00～12:50	（お昼休み）
12:50～14:50 （10分休憩）	【演習 2】サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者としての自己検証
15:00～16:30 （10分休憩）	【演習 3】関係機関との連携
16:40～18:10	【講義・演習 1】事例検討のスーパービジョン

2 日目

時 間	内 容
9:30～11:00 （10分休憩）	【講義・演習 2】サービス提供職員等へのスーパービジョン①
11:10～12:40	【講義・演習 3】サービス提供職員等へのスーパービジョン②
12:40～13:30	（お昼休み）
13:30～15:00	【講義・演習 4】研修のまとめ

※上記の詳細及び時間割は、変更となる場合があります。

必須項目	項目	内容
○	1 教科名	【講義日程】 障がい者福祉〔児童福祉〕施策の最新の動向
○	2 国が定める標準カリキュラム上の科目名	障がい者福祉〔児童福祉〕施策の最新の動向（講義）
	3 関連する研修目標	①本人主体の支援方法を理解すること
○	4 担当講師名	又村 あおい
○	5 担当講師略歴	別紙 掲載
○	6 時間数	60分
○	7 到達目標	・ 障害者福祉及び児童福祉施策の最新の動向を理解する ・ 現場に必要とされる最低限の制度に関する知識を確認する ・ 制度理解に関する自己把握と、情報を得るための手段を理解する
○	8 教科の概要	障害福祉サービス、障害児支援サービスの種類やその概要、相談支援の仕組みについて最新情報を踏まえて説明をする。最近改正や新設のあったものなど、変更点については変更点の背景や趣旨などについても理解できるよう説明を行う。
○	9 授業方法	講義及び理解度テスト（eラーニング）
○	10 授業計画	・ 研修全体のねらい、障害福祉施策の全体像及び最新の動向等（55分） ・ 理解度テスト（5分）
	11 準備学習	
	12 教科書・参考書	『障がいのある人への本人主体支援実践テキスト』
	13 注意事項	
	14 参照リンク	

必須項目	項目	内容
○	1 教科名	【講義日程】 サービス管理責任者等としてのスーパービジョン
○	2 国が定める標準カリキュラム上の科目名	サービス管理責任者等〔児童発達支援管理責任者〕としてのスーパービジョン（講義）
	3 関連する研修目標	①本人主体の支援方法を理解すること
○	4 担当講師名	橋本 達志 日置 真世
○	5 担当講師略歴	別紙 掲載
○	6 時間数	60分
○	7 到達目標	・スーパービジョンの必要性とその意義について理解する ・サービス事業所におけるスーパービジョンのあり方やそのポイントを理解する
○	8 教科の概要	サービス管理責任者として、事例検討のスーパービジョン及びサービス提供職員等へのスーパービジョンに関する基本的な理解を深める。
○	9 授業方法	講義及び理解度テスト（eラーニング）
○	10 授業計画	・スーパービジョン基礎＋理解度テスト（30分） ・サビ管・児発管としてのスーパービジョンの理解＋理解度テスト（30分）
	11 準備学習	
	12 教科書・参考書	『障がいのある人への本人主体支援実践テキスト』
	13 注意事項	
	14 参照リンク	

必須項目	項目	内容
○	1 教科名	【講義・演習日程】 事業者としての自己検証（演習）
○	2 国が定める標準カリキュラム上の科目名	事業者としての自己検証（演習）
	3 関連する研修目標	②事業所におけるサービス提供のプロセスとそこで果たすべきサービス管理責任者等の役割を理解すること
○	4 担当講師名	日置 真世
○	5 担当講師略歴	別紙 掲載
○	6 時間数	90分
○	7 到達目標	・自らの事業所の状況や取り組みを振り返り、社会的な役割や事業の目的、コンプライアンスを再認識する。 ・地域や社会の状況、障がい当事者のニーズを踏まえ、事業所に求められる役割を理解することができる。
○	8 教科の概要	事前の振り返りシートをもとに、グループワークを通じてそれぞれの事業所の状況や地域のニーズについて振り返るとともに、現場に持ち帰ることを確認します。
○	9 授業方法	グループワークによる演習
○	10 授業計画	・自己紹介、事前課題の確認・共有（30分） ・それぞれの報告についての意見交換（45分） ・グループワークの成果報告、共有（15分）
○	11 準備学習	事業所や地域の状況を把握するための自己検証用事前シートを作成し、事前提出
	12 教科書・参考書	『障がいのある人への本人主体支援実践テキスト』
	13 注意事項	
	14 参照リンク	

必須項目	項目	内容
○	1 教科名	【講義・演習日程】 サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者としての自己検証（演習）
○	2 国が定める標準カリキュラム上の科目名	サービス管理責任者〔児童発達支援管理責任者〕としての自己検証（演習）
	3 関連する研修目標	①本人主体の支援方法を理解すること
○	4 担当講師名	明河 さち 金子 志 河内 哲也 木田 祥平 佐藤 忠峰 佐藤 直樹 林 範行 日置 真世
○	5 担当講師略歴	別紙 掲載
○	6 時間数	120分
○	7 到達目標	・自らのサービス管理責任者等としての状況や取り組みを振り返り、長所短所、役割や使命を再認識し、自己覚知を促すことができる。 ・地域や社会の状況、障がい当事者や家族のニーズを踏まえ、サービス管理責任者等に求められる役割を理解することができる。
○	8 教科の概要	事前の振り返りシートをもとに、グループワークを通じてそれぞれ自らの障がい福祉従事者としての状況や求められる役割について振り返るとともに、現場に持ち帰ることを確認します。
○	9 授業方法	グループワークによる演習
○	10 授業計画	・事前課題の確認・共有（30分） ・それぞれの報告についての意見交換（70分） ・グループワークの成果のまとめ、共有（20分）
○	11 準備学習	事業所や地域の状況を把握するための自己検証用事前シートを作成し、事前提出
	12 教科書・参考書	『障がいのある人への本人主体支援実践テキスト』
	13 注意事項	
	14 参照リンク	

必須項目	項目	内容
○	1 教科名	【講義・演習日程】 関係機関との連携（演習）
○	2 国が定める標準カリキュラム上の科目名	関係機関との連携（演習）
	3 関連する研修目標	③支援提供職員及び関係機関と連携した支援方法を理解すること
○	4 担当講師名	明河 さち 金子 志 河内 哲也 木田 祥平 佐藤 忠峰 佐藤 直樹 林 範行 日置 真世
○	5 担当講師略歴	別紙 掲載
○	6 時間数	90分
○	7 到達目標	・ サービス提供における連携の重要性と必要性を再認識し、その具体的な方法について理解する ・ （自立支援）協議会の役割や活用法について具体的にイメージし、実践に活かすことができる
○	8 教科の概要	事前の連携事例シートをもとに、グループワークを通じてそれぞれの連携についての理解や実践について振り返るとともに、現場に持ち帰ることを確認します。
○	9 授業方法	グループワークによる演習
○	10 授業計画	・ 事前課題の確認・共有（30分） ・ それぞれの報告についての意見交換（40分） ・ グループワークの成果報告、共有（20分）
○	11 準備学習	連携の実践や理解を把握するための事例シートを作成し、事前提出
	12 教科書・参考書	『障がいのある人への本人主体支援実践テキスト』
	13 注意事項	
	14 参照リンク	

必須項目	項目	内容
○	1 教科名	【講義・演習日程】 事例検討のスーパービジョン
○	2 国が定める標準カリキュラム上の科目名	サービス管理責任者等〔児童発達支援管理責任者〕としてのスーパービジョン（講義） 事例検討のスーパービジョン（演習）
	3 関連する研修目標	①本人主体の支援方法を理解すること
○	4 担当講師名	明河 さち 金子 志 河内 哲也 木田 祥平 佐藤 忠峰 佐藤 直樹 林 範行 日置 真世
○	5 担当講師略歴	別紙 掲載
○	6 時間数	90分
○	7 到達目標	・事例検討のスーパービジョンについて必要性和重要性を理解する ・モデル事例を用いて事例検討を行い、事例検討のスーパービジョンの方法について理解し、具体的な取り組みイメージを現場に持ち帰ることができる
○	8 教科の概要	・サービス管理責任者として、事例検討のスーパービジョンに関する基本的な理解を深める。 ・事例を通じて、支援のあり方、支援方針、支援の内容を検討し、優良な点や改善が必要な点について、グループワークによって明確化することによってスキルアップを図る。また事例について、スーパーバイズを体験する。
○	9 授業方法	講義及び演習
○	10 授業計画	・事例検討のスーパービジョン講義（15分） ・事例検討のスーパービジョンを体験する演習（60分） ・事例検討のスーパービジョン講義（15分）
	11 準備学習	
	12 教科書・参考書	『障がいのある人への本人主体支援実践テキスト』
	13 注意事項	
	14 参照リンク	

必須項目	項目	内容
○	1 教科名	【講義・演習日程】 サービス提供職員等へのスーパービジョン①
○	2 国が定める標準カリキュラム上の科目名	サービス管理責任者等〔児童発達支援管理責任者〕としてのスーパービジョン（講義） サービス提供職員等〔支援提供職員等〕へのスーパービジョン（演習）
	3 関連する研修目標	③支援提供職員及び関係機関と連携した支援方法を理解すること
○	4 担当講師名	明河 さち 金子 志 河内 哲也 木田 祥平 佐藤 忠峰 佐藤 直樹 林 範行 日置 真世
○	5 担当講師略歴	別紙 掲載
○	6 時間数	90分
○	7 到達目標	・ サービス提供職員等へのスーパービジョンについて必要性和重要性を理解する ・ サービス提供職員等の専門職としての悩みを受け止め、成長を促すためのスーパービジョンを、バイザー及びバイジー役を体験することで、スーパービジョンの意義や方法について理解し、具体的な取り組みイメージを現場に持ち帰ることができる
○	8 教科の概要	・ サービス管理責任者等として、サービス提供職員等へのスーパービジョンに関する基本的な理解を深める。 ・ 事例を通じてサービス管理責任者等としてサービス提供職員等へ実施するスーパービジョンの構造や機能を理解し、具体的な技術を獲得する。
○	9 授業方法	講義及び演習
○	10 授業計画	・ サービス提供職員等へのスーパービジョン講義（15分） ・ サービス提供職員等へのスーパービジョンを体験する演習（60分） ・ サービス提供職員等へのスーパービジョン講義（15分）
	11 準備学習	
	12 教科書・参考書	『障がいのある人への本人主体支援実践テキスト』
	13 注意事項	
	14 参照リンク	

必須項目	項目	内容
○	1 教科名	【講義・演習日程】 サービス提供職員等へのスーパービジョン②
○	2 国が定める標準カリキュラム上の科目名	サービス管理責任者等〔児童発達支援管理責任者〕としてのスーパービジョン（講義） サービス提供職員等〔支援提供職員等〕へのスーパービジョン（演習）
	3 関連する研修目標	③支援提供職員及び関係機関と連携した支援方法を理解すること
○	4 担当講師名	明河 さち 金子 志 河内 哲也 木田 祥平 佐藤 忠峰 佐藤 直樹 林 範行 日置 真世
○	5 担当講師略歴	別紙 掲載
○	6 時間数	90分
○	7 到達目標	・ サービス提供職員等へのスーパービジョンについて必要性和重要性を理解する ・ サービス提供職員等の専門職としての悩みを受け止め、成長を促すためのスーパービジョンを、バイザー及びバイジー役を体験することで、スーパービジョンの意義や方法について理解し、具体的な取り組みイメージを現場に持ち帰ることができる
○	8 教科の概要	・ サービス管理責任者等として、サービス提供職員等へのスーパービジョンに関する基本的な理解を深める。 ・ 事例を通じてサービス管理責任者等としてサービス提供職員等へ実施するスーパービジョンの構造や機能を理解し、具体的な技術を獲得する。
○	9 授業方法	講義及び演習
○	10 授業計画	・ サービス提供職員等へのスーパービジョン講義（15分） ・ サービス提供職員等へのスーパービジョンを体験する演習（60分） ・ サービス提供職員等へのスーパービジョン講義（15分）
	11 準備学習	
	12 教科書・参考書	『障がいのある人への本人主体支援実践テキスト』
	13 注意事項	
	14 参照リンク	

必須項目	項目	内容
○	1 教科名	【講義・演習日程】 研修のまとめ（講義・演習）
○	2 国が定める標準カリキュラム上の科目名	サービス管理責任者等〔児童発達支援管理責任者〕としてのスーパービジョン（講義） 研修のまとめ（演習）
	3 関連する研修目標	②事業所におけるサービス提供のプロセスとそこで果たすべきサービス管理責任者等の役割を理解すること
○	4 担当講師名	明河 さち 金子 志 河内 哲也 木田 祥平 佐藤 忠峰 佐藤 直樹 林 範行 日置 真世
○	5 担当講師略歴	別紙 掲載
○	6 時間数	90分
○	7 到達目標	・スーパービジョンについて必要性和重要性について実践方法を含めて理解する。 ・サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者として、その役割を再認識し、重要な視点と自らのスキルアップに必要な取り組みについて具体的に現場に持ち帰ることができる ・サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者が孤立せず、困ったことは相談できるつながり作りが重要であることを実感することができる
○	8 教科の概要	・サービス管理責任者等にとってのスーパービジョンの必要性和重要性について演習の経験をもとにさらに理解を深める。 ・研修で得られた知識・技術を活用して、サービス管理責任者としてのスキルアップを図る方策について、グループワークにおける討議を通じてまとめを行う。
○	9 授業方法	講義及び演習
○	10 授業計画	・スーパービジョンまとめの講義（15分） ・研修のまとめの演習（60分） ・ファシリテーターまとめフィードバック（15分）
	11 準備学習	
	12 教科書・参考書	『障がいのある人への本人主体支援実践テキスト』
	13 注意事項	
	14 参照リンク	